



平成 22 年 3 月 23 日

各 位

東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号
古河機械金属株式会社
代表取締役社長 相馬信義
(コード番号 5715 東証・大証 1 部)
お問い合わせ先
取締役上級執行役員企画推進室長
松本敏雄
電話 03 (3212) 6570

複合木材事業撤退に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月 23 日開催の取締役会において、下記のとおり複合木材事業の撤退について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業撤退の理由

当社は、平成 17 年 10 月から福岡県添田町において地域振興事業として、廃木材と廃プラスチックを利用したリサイクル複合木材の製造・販売事業を開始し、製品の特長を生かした用途や建材等既存品の代替用途として市場展開を図ってまいりました。

しかしながら、当社のリサイクル複合木材は、耐水性や防蟻性・防虫性等に優れておりますものの、比重等の他の性能面や価格面でユーザーの要求と合わずに苦戦を強いられました。この間、品質改良等に取り組んでまいりましたが、一昨年以降は長引く住宅・建設不況の影響から販売量が激減し、好転の兆しが見えない状況が続いております。

この先当分の間、市況の回復も望めず、またデフレ環境の下、販売価格下落は確実に進んでおり、益々、当事業を取り巻く環境は厳しくなることが予想され、将来的に採算の確保が見込めないことから事業継続は困難と判断し、事業撤退を決定いたしました。

2. 撤退する事業の概要

- (1) 事業所名：複合木材事業室
- (2) 所在地：福岡県田川郡添田町大字中元寺 884 - 61
- (3) 事業内容：廃木材・廃プラスチックを原料としたリサイクル複合木材の製造・販売
- (4) 事業開始：平成 17 年 10 月
- (5) 従業員数：13 名
- (6) 平成 21 年 3 月期売上高：57 百万円

3. 日程等

平成 22 年 3 月 31 日をもって生産・販売業務を終了し、事業開始当初からご支援をいただいていた福岡県および添田町と協議のうえ、円滑に撤退を進めます。

なお、現在当事業に従事する従業員の雇用については維持する方針です。

4. 業績への影響

当該事業撤退に伴い固定資産除却損等で約 7 億円の特別損失が発生する見込みであります。平成 22 年 2 月 3 日発表の平成 22 年 3 月期連結業績予想には織り込み済みです。

なお、個別につきましても、現時点での業績予想の修正はありません。

以上